

使用上のご注意

正しくお使い下さい

互換性について

本装置は測定部に付属となっている ID ユニットとセットで調整されていますので、必ずシリアル番号の同じ ID ユニットを表示部に付けてご使用下さい。尚、ID ユニットと測定部との調整となっているため、表示部と測定部とは互換性があります。又、本装置と従来機種 (LSM-3000、3100、4000、4100、400 シリーズ、5000、6000、旧500 シリーズ) との互換性はありません。

なお、LSM-H シリーズ、5100、6100 を使用いただいているお客様で測定部または表示部が壊れた場合、特注対応にて LSM-S シリーズ、LSM-5200、LSM-6200 への接続ができます。条件としては再調整のため、引取作業となります。また、測定回数は従来通り 1600 スキャンです。

測定物と測定条件について

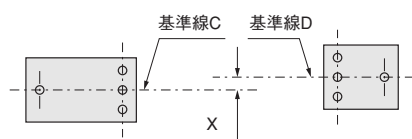
可視光レーザと不可視光レーザの違い、および測定物の形状や表面の粗さによって測定誤差を生じることがあります。この場合、出来るだけ既知の形状や表面粗さが同じ値のマスタをご使用いただき、キャリブレーションを必ず行なって下さい。測定条件によって測定値が大きくばらつく場合は、測定回数を出来るだけ多くする事で精度の高い測定が可能です。

ベースを取り外し時の再取付けについて

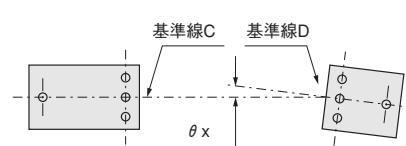
発光部・受光部間のレーザ光軸のずれによる測定誤差をできるだけ少なくするために、発光部と受光部の取付けは以下のようにして下さい。

(1) 水平面内の光軸合わせ

a. 基準線 C と D の平行ずれ → X (幅方向)

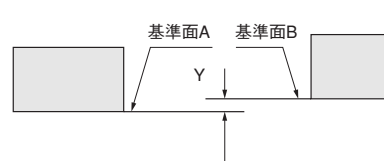


b. 基準線 C と D の角度ずれ → θ_x (角度)

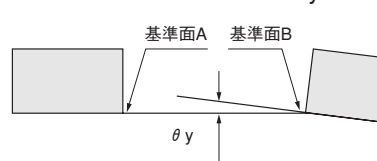


(2) 水平面内の光軸合わせ

c. 基準面 A と B の平行ずれ → Y (高さ)



b. 基準面 A と B の角度ずれ → θ_y (角度)



(3) 各光軸合わせの許容範囲

対象機種	発光部～受光部間距離	XおよびY	θ_x および θ_y
LSM-501S	68mm 以下	0.5mm 以内	0.4° (7 mrad) 以内
	100mm 以下	0.5mm 以内	0.3° (5.2mrad) 以内
LSM-503S	135mm 以下	1 mm 以内	0.4° (7 mrad) 以内
	350mm 以下	1 mm 以内	0.16° (2.8mrad) 以内
LSM-506S	273mm 以下	1 mm 以内	0.2° (3.5mrad) 以内
	700mm 以下	1 mm 以内	0.08° (1.4mrad) 以内
LSM-512S	321mm 以下	1 mm 以内	0.18° (3.6mrad) 以内
	700mm 以下	1 mm 以内	0.08° (1.4mrad) 以内
LSM-516S	800mm 以下	1 mm 以内	0.09° (0.9mrad) 以内

輸出に関して

●当社の商品は「輸出管理令」別表第一に該当しています。本商品を輸出するには、大量破壊兵器の開発、または軍事用に用いられる事がないように最終使用目的をご確認いただき、輸出許可申請を行ってください。また、米国向け輸出に関しましては、FDA 仕様の商品をご選定いただき申請を行ってください。申請に関する手続きにつきましては、弊社営業センター宛にご相談ください。(有償)

ノイズ対策について

誤動作防止のため、本装置の信号ケーブルと中継ケーブルを高圧線やサージノイズの発生するケーブルと同一配線をしないようにお願いします。また、必ずアース (接地) をして下さい。

コンピュータとの接続について

RS-232C で本装置とコンピュータを接続する場合は、コネクタの信号名及びピン番号を確認ください。

レーザ光について、安全上の注意点

本装置は測定用に低出力の可視レーザ光を使用しており、JIS C 6802 「レーザ製品の放射安全基準」のクラス 2 (可視光) に相当します。測定部には下の図に示すようなクラス 2 の警告、説明ラベルが貼られています。

※ LSM-902 のみ

